

第7期（令和3年度）

総会議案書

日時 令和4年1月30日（日）
午後7時00分

場所 竹町公民館

第7期総会は上記の通り予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため書面議決方式に変更致しました。

農事組合法人 竹町農業生産組合

第7期 総会議案書

次第

1. 開会の辞
2. 代表理事挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事録署名人指名
6. 書記指名
7. 議事
 - 議・第1号 第7期事業年度事業報告（案）について
 - 議・第2号 第7期事業年度（令和3年度）決算・剰余金処分（案）について
 - 議・第3号 第8期事業年度（令和4年度）事業計画（案）について
 - 議・第4号 第8期事業年度（令和4年度）予算（案）について
 - 議・第5号 作物別従事分量配当の考え方について
8. その他
9. 閉会の辞

議・第1号 第7期事業年度（令和3年度）事業報告について

令和元年度に、新たな役員体制を立ち上げ、法人組織を「いかに安定的に運営し、健全経営を保つか」を経営方針として再出発をしましたが、本年度はその3年目で法人としては役員任期3期目のスタートの年でありました。

1月31日に令和2年度の総会を終えましたが、一昨年からの新型コロナウイルスの蔓延防止の観点から総会形式は書面議決方式でさせていただいたところでありました。その後コロナも一時は収束の兆しが見えかけたものの、新しいオミクロン株が発生し、第6波が到来、勢いはとどまることなく滋賀県では過去最多の感染者数が出る状況です。新型コロナ感染症は昨年と同様に、経済活動や市民生活に多いに支障をきたし、米の消費落ち込みによる米価下落が当生産組合にも大きな影響を与え、新型コロナ抜きでは語れない年度となりました。

さて、経営面でございますが、主に宿泊業、外食産業の需要落ち込みから、コメの消費も激減、大幅なコメ余りが発生し、JAの米価概算払いが大幅に下落いたしました。この結果、本年度の米作については従事分量配当で厳しい数字を提示しなければならないという決算状況となっております。

一方、昨年度（2020年）はコロナ禍による売上減少に伴い持続化給付金をいただきましたが、飲食店の家賃負担軽減策としての家賃支援給付金が農業者の借地料に当たるとして本年度は約60万円の交付を受けることができました。昨年度に引き続き、新型コロナの影響で米の消費が低迷、米価が下落する中、遅れて給付されたこの補助金に救われた感があります。

本年度はこの補助金と合わせて関電鉄塔工事に伴う補償金約40万円が入り、機械の賃借料や修繕費、減価償却費等に充当することが出来、わずかながらも減収と単価下落分を補えたところです。

なお、来期は更なる米価の下落、農業資材の高騰で経営環境は今まで以上に更に厳しくなるものと予測されます。

次に、町内の農業に関わる現状ですが、生産組合の耕作者（担い手）も高齢化し、体力的に耕作が出来ない者が増えている状況にあります。昨年度から新しい担い手への農地移管を進めておりますが、今年も船橋雄平班・北川佐一班の一部を認定農家の荒川雅男さんに移行して行く手続きを、農業委員会、中間管理機構へ申請いたしました。この前段として竹町改良組合にお願いをし、9月に人・農地プラン（竹町の田んぼの耕作はこの様にしていくと言う計画書）を市農政課へ提出していただいたところです。この人・農地プランは、毎年見直し、対応をしていく必要があります、担い手確保は永遠の課題になると考えます。

なお、個別の報告については、それぞれ各部門から報告をさせていただきます。

第7期（令和3年度）決算概要について（総務部）

1. 令和3年度決算概要と過去の変遷

本年度決算と過去の変遷

（単位：千円）

事業年度		第2期 H28年度	第3期 H29年度	第4期 H30年度	第5期 R1年度	第6期 R2年度	第7期 R3年度
栽培作物	水稲	3.0反	41.4反	89.8反	123.2反	127.6反	35.5反
	小麦	114.1反	107.6反	114.3反	114.1反	108.0反	103.2反
	大豆		15.9反	40.2反	63.3反	51.9反	41.6反
	黒豆			5.4反	8.1反	13.9反	15.5反
	ソバ		13.9反	67.5反	36.4反	43.1反	36.3反
経営面積		117.1反	178.8反	318.4反	347.1反	344.5反	304.6反
売上		803	4,208	9,445	12,396	14,853	7,114
製造原価・管理費		6,281	8,737	13,398	16,259	17,005	12,187
営業利益		-5,745	-4,862	-4,366	-3,873	-2,588	-5,074
営業外収益 (補助金等)		6,938	8,960	11,047	12,976	15,234	13,660
経常利益		1,194	4,097	6,679	9,101	12,600	8,585
経常利益/反		10	23	21	26	37	28
経営基盤強化準備金		0	2,200	1,500	1,500	0	0
利益準備金		110	200	600	750	1,250	860
従事分量配当		925	1,558	4,350	6,500	10,200	7,400

本年度決算の概要

本年度（第7期）につきましては、水稲の耕作面積が前年比7割減となったことと合わせて、水稲、小麦、大豆（R2年産）、ソバの各作物とも天候不順により作柄不良となり、売上、補助金収入ともに前年より大きく減収となっております。但し、前年度の大豆、ソバにつきましては両作物とも数量払いの補助金を確保出来る生産量となり、この補助金が幾分全体の収入を支える結果となりましたが、全体の落ち込みをカバー出来るところ迄は至っておりません。

この結果、営業利益は赤字拡大、経常利益は前年比27%減と大幅な減益となっております。これに伴い、従事分量配当は昨年度より厳しい結果となり、特に稲作に関しては反収減、価格下落の影響で例年になく厳しくなっております。

2. 作物別の作柄と収支の概要

小麦、水稻、ソバの前年度比較（税抜）

単位：千円

年 度	令和2年度			令和3年度		
	小麦	水稻	ソバ	小麦	水稻	ソバ
経営面積	108.00 反	127.62 反	43.07 反	103.2 反	35.5 反	36.3 反
収穫量	34,320kg	56,290kg	5,288kg	28,256kg	14,807kg	945kg
収穫量/10a	318kg	7.4 俵	122.8kg	274kg	7.0 俵	26.0kg
売 上	741	11,605	881	651	4,520	158
製造原価・管理費	4,884	8,352	702	4,518	3,774	480
営業利益	-4,143	3,253	180	-3,867	746	-322
営業外収益：補助金等	8,017	346	553	7,272	204	471
経常利益	3,859	3,578	731	3,405	950	148
経常利益/反	33.2	28.0	17.0	33.0	26.8	4.1

1) 作物別作柄と収支

本年度は上記のどの作物も作柄が悪く、反当たりの収量が低下しております。また、水稻ではこれに加えて概算払単価が下落し、反当たりの利益も落ち込んでいます。ソバについては大雨による発芽不良と種の播き直しによりソバ本体の生育が遅れ収穫量が激減、反当たり8割減となりました。

小麦についても反当たりの収量が落ちましたが、小麦の販売単価が6%上がったこと、ドローンに費用は掛かりましたが、肥料農薬等の製造原価が下がり、営業利益は赤字縮小となりました。ただし、数量払いの補助金収入が減り、反当たり経常利益としてはやや減益という結果になっております。

2) 本年度決算の課題

本年度の水稻の売上は約452万円で、経常利益は約95万円ですが、この内約61万円は令和1年度の精算金です。従ってこれを差し引いた本年度の実質経常利益は34万円となり、これに伴い従事分量配当も約27万円と減少し、10aあたりに換算すると7,600円程度（農機使用料と合わせて平均28,600円程）となります。これは、天候不順による収量減と米価の概算払い価格の下落（約18%ダウン）によるところ大となっております。

また、ソバにつきましても翌年に二毛作助成金等が入って来ますが単年度の10aあたり従事分量配当は4,200円程度となります。将来的に米価が更に下落したり、天候不順が発生しますと単独作物では経常利益が赤字となる事態が想定されます。

しかしながら、現時点ではこのように単独作物で経常利益が赤字となった場合に、従事分量配当をどうするのが決まっておられませんので、万が一を想定した対応策が必要と考えます。

3) 作物別栽培経過

◆小麦（転作部）

昨年同様「びわほなみ」の増収体系に取り組みました。しかし、結果として昨年度よりも収穫量が減りました。今年は「タデ」が多く見られ、中には刈り取り作業が出来ない圃場があったことも収量減収につながったと思います。雑草防除をしようにも大型機械がないため、悩まされるところです。

また、赤カビ防除作業をドローン空中散布で試行しました。結果、当然ながら田植前後の稼働は削減されましたが、多額の費用がかさみました。費用対効果を考え、令和4年度は従来通り各耕作者へ作業委託を行なうこととします。

◆水稲（営農部）

令和3年産については354.7aの圃場で、みずかがみ・コシヒカリ・キヌヒカリゆめおうみ・日本晴・秋の詩の6品種を作付けしました。

生育経過としては、梅雨入りが早く雨の多い日が続き、日照不足の影響がありました。

8月についても、温帯低気圧の接近や秋雨前線の停滞（8/12～8/19）に伴い、倒伏や穂ズレによる籾褐変の発生により等級・収量の低下に繋がったと考えます。

◆ソバ（船橋雄平班）

収穫量の推移

	収 穫 量	面 積	10a 当たり収量
2017(H. 29)年度	450kg	137.8a	33.0kg
2018(H. 30)年度	1733kg	675.1a	25.7kg
2019(R. 01)年度	1733kg	364.4a	47.5kg
2020(R. 02)年度	5288kg	430.7a	122.8kg
2021(R. 03)年度	945kg	363.1a	26.0kg

1) 今年度の収穫量の低さは、8月12日から停滞した前線による大雨で一度蒔いた種が全て消えてしまったこと、二度目の播種で圃場表面が細かくなり過ぎ、9月2日からの秋雨前線による雨水を排水しきれなかったことに尽きると考えられる。

8月12日からの降水量は、14日には近江八幡で過去最高になり、圃場は完全に水に浸かってしまった。排水路も水位が上がり、排水路の役目を果たせていなかった。こういった異常気象は今後も現れるであろうが、排水溝をきれいに保っておく以外に対処はできないと考えられる。

2) 昨年度の総会において費用の圧縮を目的に、元肥の量を減らす試みを提案し、実践した。

結果、最初の播種で20kg/10aの規定量に対して約1/3の6.4kg/10aの散布量とした。その後再播種したが、再播種では肥料の散布は行わなかった。

結果的に収量が少なかったが、肥料との関係は全く不明であり、次年度こそ天候に恵まれることを祈りながら、今年度と同等の散布量で結果を検証したい。

3) 次年度(2022・R. 04)こそ天候に恵まれることを願って、ソバの栽培を継続したい。

大豆、黒豆の生産推移 (税抜)

単位：千円

年 度	大豆			黒豆		
	H30年度	R1年度	R2年度	H30年度	R1年度	R2年度
経営面積	40.19反	63.29反	51.9反	5.37反	8.14反	13.9反
収穫量	2,626kg	7,962kg	6,570kg	90kg	900kg	592kg
収穫量/10a	65.3kg	125.8kg	126.6kg	16.8kg	101kg	42.6kg
※参考：市内基準反収	162kg	162kg	162kg	—	—	
売上	198	721	1,250	102	890	534
製造原価・管理費	1,222	2,338	1,917	157	204	368
営業利益	-1,024	-1,616	-667	-55	670	166
営業外収益：補助金等	1,732	2,612	1,821	103	162	247
経常利益	707	992	1,737	48	831	413
経常利益/反	18	16	33	9	102	30

上記の結果は、昨年度の収支結果と本年度の結果を合算して、1年間の損益を算出したもの。令和3年度植え付け分については、まだ収量も売上額も結果が出ていないため、上表には入れず。令和2年産大豆については、収量アップで売上が伸び、数量払いも確保出来、面積当たりの収益で見ると最も良好な結果となっている。黒豆は年毎の変動が大きいですが、大豆は製造原価も下がり着実に利益が増加傾向にある。

◆大豆：今年度の状況（荒川雅男班）

- ・播種前準備はそれなりにいいスタートが切れた。
- ・6月下旬までに播種し終わり8月の長雨が心配されたが順調に成長した。
- ・収量はそこそこ満足できるものであったが見た目（品質）が今一つに見えた。
- ・コンバインが順番のため刈取時期が後半遅くなり脱粒多く少し勿体ない気がした。

来年はもっといいものを作りたい。

◆黒豆：今年度の状況（荒川雅男班）

- ・大豆に先駆け黒豆の播種時期を6月末までと設定しその通りの日程で6/25頃までに播種ができた。品種の特性上、出芽率は大豆ほど高くなく種の撒きなおしも人力が必要。（補植用に1列密植にして移植する、のも一考か）（播種後約10日で新芽が顔を出す）
- ・大豆と同じく8月の長雨が心配されたが収量はそこそこ満足できるものであったがやはり見た目（品質）がどうか？と思われた。
- ・畝間1メートル強、株間50～60cm辺りで撒いたが大粒よりも中粒が多く結果的にはよくできたと思う。
- ・収穫期、人力による刈取、乾燥、脱穀となるため相応の人員確保が望まれるところ。
- ・機械刈取では品質低下が激しく難しいと思われる。

損 益 計 算 書

令和 3 年 1 月 1 日から
令和 3 年 12 月 31 日まで

商号 農事組合法人 竹町農業生産組合

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売 上 高 農 産 物 売 上	7,113,620	7,113,620	7,113,620
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 高 当 期 農 業 原 価 合 期 末 棚 卸 損 期 売 上 総 損		0 10,509,414 10,509,414 0	 10,509,414 3,395,794
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 管 営 業 損		1,677,791	1,677,791 5,073,585
IV 営 業 外 収 益 受 取 配 収 当 金 人		518 1,000 13,658,736	 13,660,254
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息		1,430	1,430
経 常 利 益			8,585,239
VI 特 別 利 益		0	0
VII 特 別 損 失		0	0
税 引 前 当 期 純 利 益			8,585,239
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		282,781	282,781
当 期 純 利 益			8,302,458
繰 越 利 益 剰 余 金		222,913	8,525,371
未 処 分 利 益 剰 余 金			8,525,371

令和3年度 竹町農業生産組合 損益計算書

2021年12月27日

令和3年度実績										
	総合	共通	水稻	小麦	大豆 R2年産	大豆 R3年産	黒豆 R2年産	黒豆 R3年産	ソバ R2年産	ソバ R3年産
経営面積	304.60反		35.47反	103.20反	51.90反	41.58反	13.90反	15.48反	43.07反	36.31反
収穫量（本年度：水稻はくず米除く）		供出米：5,897kg 自家消費米：7,680kg	14,807kg (6.96俵/反)	28,256kg (274kg/反)	6570kg (126.6kg/反)	-	592kg (42.6kg/反)	-	5,288kg 122.8kg/反	945kg 26.0kg/反
収穫量（前年度）			(56,290kg) (7.35俵/反)	(34,320kg) (318kg/反)	(7,962kg) (153kg/反)	(kg)	(900kg) (110.6kg/反)	(kg)	(1,733kg) (47.6kg/反)	(5,288kg) (122.8kg/反)
売上	7,113,620円		4,520,256円	651,436円	1,250,083円	0円	534,345円	0円	0円	157,500円
A 売上合計	7,113,620円	0円	4,520,256円	651,436円	1,250,083円	0円	534,345円	0円	0円	157,500円
①種苗費/諸材料費	1,096,765円		464,172円	270,973円	236,182円		52,154円	-紙袋代1564円込み		73,284円
②肥料費/農薬費	2,268,772円		676,344円	639,291円	697,513円		200,393円			55,231円
ア 材料費 計 (①~④)	3,365,537円	0円	1,140,516円	910,264円	933,695円	0円	252,547円	0円	0円	128,515円
③確定給与雇賃金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
④臨時雇用賃金（農作業標準労賃表による）	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
イ 労務費 計 (③~④)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
⑤作業委託費（ドローン航空防除+ソバ刈取料他）	540,682円			309,600円						231,082円
⑥小農具備品費（リースアップコンバイン）	138,971円	138,971円								
⑦動力燃料費	97,001円	97,001円								
⑧減価償却費	251,537円	251,537円								
⑨リース料	0円	0円	0円	0円						
⑩修繕費	79,310円	79,310円								
⑪租税公課	33,480円	33,480円								
⑫支払地代	1,407,540円	3,500円	357,910円	1,046,130円						
⑬賃借料（組合員農機具使用料：支払額÷1.1）	1,771,837円		699,677円	703,636円		189,000円	63,182円	0円		116,342円
⑭外部からの賃借料（農機格納庫、レンタル料等）	418,813円	109,091円		51,372円	258,350円					
⑮共済掛金（作物別）	110,063円		5,837円	104,226円						
⑯共済掛金（共通）	74,159円	74,159円								
⑰水利費（4,950円/反）	736,430円		177,160円	559,270円						
⑱施設利用費（カントリー利用料他）	1,445,706円	485円	278,571円	832,826円	288,445円		20,173円		21,385円	3,821円
⑲雑費	6,037円	6,037円								
⑳' 消耗品費	32,311円						32,311円			
ウ 生産経費 計 (⑤~⑲)	7,143,877円	793,571円	1,519,155円	3,607,060円	546,795円	189,000円	115,666円	0円	21,385円	351,245円
B 製造原価合計（ア～ウ）	10,509,414円	793,571円	2,659,671円	4,517,324円	1,480,490円	189,000円	368,213円	0円	21,385円	479,760円
C 売上総利益（A-B）：売上総損失	-3,395,794円	-793,571円	1,860,585円	-3,865,888円	-230,407円	-189,000円	166,132円	0円	-21,385円	-322,260円
⑲支払手数料（税理士費用）	389,800円	389,800円								
⑳支払手数料（その他）	700円			700円						
㉑販売手数料（JA：R3年度より販売費を分離）	1,273,791円		1,113,036円		160,755円					
㉒租税公課、諸会費	3,500円	2,000円	1,500円							
㉓事務用消耗品費	0円									
㉔雑費	10,000円	10,000円								
D 販売・一般管理費計（⑲~㉔）	1,677,791円	401,800円	1,114,536円	700円	160,755円	0円	0円	0円	0円	0円
E 費用合計（B+D）	12,187,205円	1,195,371円	3,774,207円	4,518,024円	1,641,245円	189,000円	368,213円	0円	21,385円	479,760円
F 営業利益（A-E）：営業損失	-5,073,585円	-1,195,371円	746,049円	-3,866,588円	-391,162円	-189,000円	166,132円	0円	-21,385円	-322,260円

	総合	共通	水稻	小麦	大豆	大豆	黒豆	黒豆	ソバ	ソバ
					R2年産	R3年産	R2年産	R3年産	R2年産	R3年産
畑作物の直接支払交付金（数量払）	2,179,985円	0円	0円	1,049,851円	67,634円	0円	0円	0円	1,062,500円	
畑作物の直接支払い交付金（面積払い）2万円/10a	3,362,600円	0円		2,062,000円		830,000円		0円	0円	470,600円
水田活用の直接支払い交付金 3.5万円/10a	3,625,000円	0円	0円	3,625,000円	0円	0円	0円	0円	0円	
水田フル活用助成金：加工用米3a分	582円		582円							
団地加算交付金（4870円/10a）	527,421円	0円	0円	527,421円	0円	0円	0円	0円	0円	
二毛作助成金（ソバ20,000円/10a）：3a分	6,750円				750円				6,000円	
二毛作助成金（県）（大豆、黒豆13,460円/10a）	858,748円				677,341円		181,407円			
二毛作助成金（県）（ソバ13,460円/10a）	574,742円								574,742円	
土壌改良（市）（大豆 2,300円/10a）	159,500円				125,806円		33,694円			
二毛作助成金（市）（大豆、黒豆、ソバ2,000円/10a）	244,950円				119,370円		31,970円		93,610円	
環境保全型農業直接支払交付金	182,800円		182,800円							
水稻施設奨励金	18,794円		18,794円							
麦流通円滑化交付金	6,074円			6,074円						
高品質米栽培取り組み支援	2,061円		2,061円							
家賃支援給付金	643,158円	643,158円								
関電鉄塔建設の補償金、車両事故に伴う補償金	420,000円	418,500円		1,500円						
新幹線工事に伴う借地料	80,500円	80,500円								
還付税額の精算	672,796円	672,796円								
その他2（組合農機貸付料他）	92,275円	92,275円								
a 雑収入1（補助金）	13,658,736円	1,907,229円	204,237円	7,271,846円	990,901円	830,000円	247,071円	0円	1,736,852円	470,600円
利息	518円	518円								
出資配当金	1,000円	1,000円								
従事分量配当金にかかる消費税益	0円									
b 雑収入2（利息+地代）	1,518円	1,518円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
G 営業外収益 計（a+b）	13,660,254円	1,908,747円	204,237円	7,271,846円	990,901円	830,000円	247,071円	0円	1,736,852円	470,600円
a 支払利息	1,430円	1,430円								
b 預かり金利息	0円	0円								
d 雑損失	0円	0円								
H 営業外費用 計（c+d）	1,430円	1,430円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
I 経常利益（F+G-H）：営業外損益加算	8,585,239円	711,946円	950,286円	3,405,258円	599,739円	641,000円	413,203円	0円	1,715,467円	148,340円
特別利益	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
特別損失（経営基盤強化準備金）	0円									
役員報酬	0円									
J 税引前当期利益（経常利益+特別損益）	8,585,239円									
法人税、住民税及び事業税（計算式-219円：税理士整合）	282,781円									
K 当期純利益	8,302,458円									
前期繰越利益剰余金	222,913円									
L 当期未処分利益剰余金	8,525,371円									
M 利益準備金（10%）	860,000円									
R1年産米精算金			607,246円							
O 従事分量配当 計	7,400,000円	110,000円	272,638円	3,152,979円	555,307円	593,512円	382,591円	0円	1,588,377円	137,350円
P 次期繰越利益	265,371円		28.7%	92.6%	92.6%	92.6%	92.6%	0.0%	92.6%	92.6%
	総合	共通	水稻	小麦	R1年産	R2年産	R1年産	R2年産	R1年産	R2年産
※前年度従事分量配当実績	9,250,000円	120,000円	3,089,177円	3,331,349円	8,483円	644,097円	716,966円	0円	649,643円	640,477円

議・第3号 第8期事業年度（令和4年度）事業計画（案）について

今2022年度(令和4年度)は、竹町農業生産組合が法人化して役員任期3期目の2年目の年になります。2年前に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に広がり、日本でも感染拡大と収束を繰り返しながら、現在に至っております。正月明けからはオミクロン株による感染者が急増、連日マスクで取り上げられ日を迫る毎に増加の傾向にあります。

令和4年度の法人経営もコロナを意識した運営からは逃がれられず、日本経済の低迷、原油の高騰による農業資材等の高騰、米価の下落等、農業を取り巻く経営環境はなお厳しい局面を迎えるということ認識しておく必要があります。このような状況下、当組合と致しましては、会議冒頭で述べましたように「安定的な運営、健全な経営」を目指し、今日まで培ってきたものを糧として粛々と、経営・運営に当たって参ります。

- ①一昨年度に担い手不足の関係から、米作においては圃場の一部を認定農業者の方に移管することをお願いしております。当分の間は、法人と認定農業者双方で維持管理に努めてまいります。
- ②野菜等の新しい作付けも今後検討しなければなりません。当分の間は昨年と同様、コメ・麦・大豆(白・黒)・ソバを続けます。
- ③大型機械の導入も今後の生産組合のあり方を十分に考え対応をして参ります。
- ④農業資材の高騰により、肥料等の低コスト化も考える必要があると考え、検討材料といたします。
- ⑤新型コロナウイルスの発生状況にもよりますが、日本経済は昨年より更に悪化する可能性もあります。昨年は外食産業の需要減により米価が大幅に下落しました。状況によっては今年も更に下落することも考えられます。これに対応するためには良品増産しかありませんが、国等からの補助金確保にも努めます。
- ⑥竹町の田は竹町で守ることを前提として法人のあり方について引き続き検討して参ります。
- ⑦その他の方針は部門別で示させていただきます。

議・第4号 第8期事業年度（令和4年度）予算（案）について

第8期（令和4年度）予算計画の栽培作物としましては、小麦、水稲、大豆、黒豆、ソバ、5品目となります。栽培面積は、小麦は前年よりやや減少、水稲は88反減、ソバ、大豆も減少となります。

圃場別作付計画と栽培管理委託先については巻末の付表1～付表5を参照ください。

令和4年度予算計画

単位：千円

年 度	R4年度							R3年度
	総合	水稲	小麦	大豆 R3年産	大豆 R4年産	ソバ R3年産	ソバ R4年産	総合実績
経営面積	392反	51.5反	125.4反	41.6反	57.9反	36.3反	43.4反	305反
収穫量	—	26,200kg	37,600kg	5,400kg	—	945kg	3,600kg	—
売上	11,219	7,683	1,069	1027	0	0	600	7,114
製造原価・管理費	12,144	4,356	5,103	438	271	18	585	12,187
営業利益	-926	3,327	-4,033	-1,248	-242	-18	15	-5,074
補助金	13,810	332	9433	759	1172	489	581	13,660
経常利益	12,884	3,659	5,400	1,349	901	471	595	8,585
従事分量配当	11,200	—	—	—	—	—	—	7,400

上表は、予算計画表の作物別主要指標を取り出したものですが、大豆、ソバにつきましては、事業年度をまたがりますので、年間通しての収支ではありません。

昨年度は何れの作物も収穫量が減り、減収減益となりましたが、次年度（第8期）については、販売単価は据え置きとして収穫量はある程度一昨年並みには戻すものとして計画を組んでおります。

この計画通りの生産量になれば、昨年比+40%の増益になる見込みです。天候次第とも言われますが、良品多産を念頭に多少なりとも多くの収穫が出来る様にご尽力頂きたく御願いたします。

【作物別の取り組み】

◆小麦（転作部）

令和4年度は米の在庫増加により、40パーセント越えの転作となり、竹町においては1253.6アールの作付けとなりました。また、施肥体系を従来の増収体系から省力体系に変更しました。理由としては

- ①収量が増収体系よりも多い。
- ②実肥が不要で田植前後の稼働が少し省ける。

とすることで実施しました。反面肥料代がかさむのが短所です。

よって、少しでも多くの麦をとることが必要です。各耕作者の方には2月下旬頃の穂肥、赤カビ防除、圃場の排水の徹底をお願いします。

◆水稲（営農部）

令和4年産については、514.6aの圃場で令和3年産同様、6品種の作付けを予定しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で外食向けの業務用米の需要等が大幅に減少している中で、米価の大幅な下落が今後も懸念されています。さらに肥料・農薬をめぐる情勢は、世界的な穀物相場の上昇により原料調達コストが急騰したことにより、価格が値上がりしております。水稻を取り巻く環境は大変厳しい状況ですが、1袋でも多く良品質米が収穫出来るよう取り組みたいと考えます。

◆ソバ（船橋雄平班）

2021(令和3)年度のソバ（二毛作）は、お盆の記録的豪雨などによって、自然相手の農業は到底人間の力が及ぶものではないことを改めて知らしめてくれました。しかし、そんなことで諦めては食料の生産はできません。2022(令和4)年もソバの栽培に挑戦します。

1) 圃場の土質管理と播種時期

2021(令和3)年度産のソバの教訓は、圃場の土が細かくなり過ぎると排水が悪くなって生育が悪くなることです。草を管理するためには、播種までに何度も平耕起する方が良いのは自明の理ですが、表面を細かくし過ぎないために播種までの平耕起は一回にとどめます。

少ない平耕起で済ませるために、播種は大豆の播種が終わり次第に行います。ソバの栽培は播種から収穫までだいたい70日から75日です。

2) 数量払い補助金確保を目指す

2020(令和2)年度は大豊作で、2021(令和3)年度の販売価格の行方が心配になりましたが、以前と同額の180円/kgで買い上げてもらえました。

天候が頼みの綱とはいえ、数量払いが受け取れる45kg/10a以上の収穫を目指して作業します。

3) 低肥料化栽培への取り組み

2021(令和3)年度は肥料を少なくして栽培しましたが、蒔き直しなどのために検証が出来ていません。2022(令和4)年度も2021(令和3)年度の播種機設定で播種し、低肥料化栽培の検証を試みたいと思います。

4) 支援の御願い

2022(令和4)年度の作業も基本的に元船橋雄平班で行い、どうしても手が足りない場合は耕作者や地権者に助けを求めたいと考えます。その節はご協力をお願いいたします。

竜王町そば振興会直営でソバを食べられる店が安土の駅前ロータリーにあります。

「さわえ庵」といいます。美味しいお店です。ぜひお立ち寄りください。

◆大豆（荒川雅男班）

- ・次年度も大豆に取り組むとすると、麦刈取後の天候にもよるが土改系、元肥散布から額縁の片培土までは早めに仕上げ溝をつないで排水に努める。
- ・播種時期を6月末から7月上旬に設定し平起こし、播種を一気にやり切る。
- ・播種後、反1本くらいの溝を入れる。梅雨の見極めは難しいが一にも二にも排水が大事である。(成育後半の雑草対策も考えるといいか)
- ・広く人材を求め麦作と同じようなやり方ができないか検討する。

◆黒豆（荒川雅男班）

- ・6月末までの播種を基本としてやはり排水対策を徹底したい。
- ・初期の雑草は除草剤のおかげもありそれなりに抑制されるが中耕以降の雑草をいかに抑えるか、の方法を考えたい。大豆と同じく成育後半の雑草対策を考える。
- ・早く刈取ができて脱穀に相当の時間がかかるため新しい脱穀機の導入を検討する。

令和4年度 竹町農業生産組合 予算計画書

	令和4年度計画										令和3年度
	総合	共通	水稲	小麦	大豆	大豆	黒豆	黒豆	ソバ	ソバ	総合
					R3年産	R4年産	R3年産	R4年産	R3年産	R4年産	
経営面積	392.51反		51.46反	125.36反	41.58反	58.14反	15.48反	20.83反	36.31反	43.35反	304.60反
目標収穫量			26,200kg	37,600kg	5,400kg		930kg		945kg	3,600kg	
目標収量/10a			7.5俵	300kg	130kg		60kg		26kg	80kg	
売上	11,218,720円		7,682,570円	1,069,258円	1,027,465円	0円	839,427円	0円	0円	600,000円	7,113,620円
A 売上合計	11,218,720円	0円	7,682,570円	1,069,258円	1,027,465円	0円	839,427円	0円	0円	600,000円	7,113,620円
①種苗費/諸材料費	1,182,269円		761,232円	329,159円	0円	0円	1,742円	0円	0円	90,137円	1,096,765円
②肥料費/農薬費	1,953,686円		1,109,189円	776,565円	0円	0円	0円	0円	0円	67,932円	2,268,772円
ア 材料費 計 (①~④)	3,135,955円	0円	1,870,420円	1,105,724円	0円	0円	1,742円	0円	0円	158,069円	3,365,537円
③確定給与雇備資金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
④臨時雇用資金 (農作業標準労賃表による)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
イ 労務費 計 (③~④)	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
⑤作業委託費	284,223円									284,223円	540,682円
⑥小農具備品費 (税抜き)	20,000円	20,000円									138,971円
⑦動力燃料費	300,000円	300,000円									97,001円
⑧減価償却費	251,537円	251,537円									251,537円
⑨リース料	0円	0円									0円
⑩修繕費	227,000円	150,000円		77,000円							79,310円
⑪租税公課	33,500円	33,500円									33,480円
⑫支払地代 (10,000円/反)	1,835,400円		581,800円	1,253,600円							1,407,540円
⑬賃借料 (組合員農機具使用料: 支払額÷1.1)	2,486,551円		1,147,454円	854,727円	0円	270,909円	70,364円	0円	0円	143,096円	1,771,837円
⑭外部からの賃借料 (レンタル料等)	258,979円			52,000円	206,979円						418,813円
⑮共済掛金 (作物別)	136,179円		9,573円	126,606円							110,063円
⑯共済掛金 (共通)	74,200円	74,200円									74,159円
⑰水利費 (4,950円/反)	908,523円		287,991円	620,532円							736,430円
⑱施設利用費 (カントリー利用料他)	1,740,092円		456,850円	1,011,658円	231,089円	0円	22,466円	0円	18,029円	0円	1,445,706円
⑲雑費	6,000円	6,000円									6,037円
⑲' 消耗品費	32,000円	32,000円									32,311円
ウ 生産経費 計 (⑤~⑱)	8,594,183円	835,237円	2,483,668円	3,996,123円	438,068円	270,909円	92,830円	0円	18,029円	427,319円	7,143,877円
B 製造原価合計 (ア~ウ)	11,730,138円	835,237円	4,354,089円	5,101,847円	438,068円	270,909円	94,572円	0円	18,029円	585,388円	10,509,414円
C 売上総利益 (A-B) : 売上総損失	-511,418円	-835,237円	3,328,481円	-4,032,589円	589,397円	-270,909円	744,855円	0円	-18,029円	14,612円	-3,395,794円
⑲支払手数料 (税理士費用)	390,000円	390,000円									389,800円
⑲支払手数料 (その他)	700円			700円							700円
⑲販売手数料 (JA: R3年度より販売費を分離)											1,273,791円
⑲租税公課、諸会費	3,500円	2,000円	1,500円								3,500円
⑲事務用消耗品費	10,000円	10,000円									0円
⑲雑費	10,000円	10,000円									10,000円
D 販売・一般管理費計 (⑲~⑳)	414,200円	412,000円	1,500円	700円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	1,677,791円
E 費用合計 (B+D)	12,144,338円	1,247,237円	4,355,589円	5,102,547円	438,068円	270,909円	94,572円	0円	18,029円	585,388円	12,187,205円
F 営業利益 (A-E) : 営業損失	-925,618円	-1,247,237円	3,326,981円	-4,033,289円	589,397円	-270,909円	744,855円	0円	-18,029円	14,612円	-5,073,585円

	令和4年度計画										令和3年度
	総合	共通	水稲	小麦	大豆	大豆	黒豆	黒豆	ソバ	ソバ	総合
					R3年産	R4年産	R3年産	R4年産	R3年産	R4年産	
畑作物の直接支払交付金（数量払）	1,633,700円	0円	0円	1,633,700円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	2,179,985円
畑作物の直接支払い交付金（面積払い）2万円/10a	4,259,780円	0円		2,507,200円		1,172,000円		0円	0円	580,580円	3,362,600円
水田活用の直接支払い交付金 3.5万円/10a	4,387,600円	0円	0円	4,387,600円	0円	0円	0円	0円	0円		3,625,000円
水田フル活用助成金：加工用米3a分	0円							0円			582円
団地加算交付金（4870円/10a）	610,500円			610,500円							527,421円
二毛作助成金（ソバ20,000円/10a）：3a分	0円										6,750円
二毛作助成金（県）（大豆、黒豆、ソバ：13,460円/10a）	1,256,759円				559,667円		208,360円		488,732円		1,433,490円
土壌改良（市）（大豆 2,500円/10a）	142,650円				103,950円		38,700円				159,500円
二毛作助成金（市）（大豆、黒豆、ソバ2,300円/10a）	419,566円			288,328円	95,634円		35,604円				244,950円
環境保全型農業直接支払交付金	300,000円		300,000円								182,800円
水稲施設奨励金	30,000円		30,000円								18,794円
麦流通円滑化交付金	6,000円			6,000円							6,074円
高品質米栽培取り組み支援	2,000円		2,000円								2,061円
家賃支援給付金・関電補償金・新幹線工事に伴う借地料	80,000円	80,000円									1,143,658円
還付税額の精算											672,796円
その他2（組合農機貸付料他）	80,000円	80,000円									92,275円
a 雑収入1（補助金）	13,208,555円	160,000円	332,000円	9,433,328円	759,251円	1,172,000円	282,664円	0円	488,732円	580,580円	13,658,736円
利息	500円	500円									518円
出資配当金	1,000円	1,000円									1,000円
	0円										0円
従事分量配当金にかかる消費税益	600,000円	600,000円									
b 雑収入2（利息+地代）	601,500円	601,500円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	1,518円
G 営業外収益 計（a+b）	13,810,055円	761,500円	332,000円	9,433,328円	759,251円	1,172,000円	282,664円	0円	488,732円	580,580円	13,660,254円
a 支払利息	0円	0円									1,430円
b 預かり金利息	0円	0円									0円
d 雑損失	0円	0円									0円
H 営業外費用 計（c+d）	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	1,430円
I 経常利益（F+G-H）：営業外損益加算	12,884,437円	-485,737円	3,658,981円	5,400,039円	1,348,648円	901,091円	1,027,519円	0円	470,703円	595,192円	8,585,239円
特別利益	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
特別損失（経営基盤強化準備金）	0円										0円
経営基盤強化準備金	0円										0円
役員報酬	0円										0円
J 税引前当期利益（経常利益+特別損益）	12,884,437円										8,585,239円
法人税、住民税及び事業税	371,900円										282,781円
K 当期純利益	12,512,537円										8,302,458円
前期繰越利益剰余金	56,971円										222,913円
L 当期末処分利益剰余金	12,569,508円										8,525,371円
M 利益準備金（10%）	1,300,000円										860,000円
出資配当金	0円										
O 従事分量配当	11,200,000円										7,400,000円
P 次期繰越利益	69,508円										265,371円

議・第5号 作物別従事分量配当の考え方について

作物別収支において、経常利益より算出した従事分量配当の金額が作業料金表の標準労賃を下回る場合の対応策について以下の通り提案致します。

「特定作物の経常利益より算出した従事分量配当が別途定める農作業標準労賃・農機具使用料金計算基礎資料の標準労賃の80%を下回る場合は、他の作物の収益から補填して標準労賃の80%を当該作物の従事分量配当として支給する。」

※水稻については2年前の精算金を決算年度の経常利益から差し引き、その結果が標準労賃の80%を下回った場合にも上記規定を適用する。

※期を跨がないと年間の従事分量配当が出せない大豆、ソバ等については、1年間の従事分量配当を算出して、これが標準労賃の80%を下回った場合に上記規定を適用する。

※このことによって、他の作物が標準労賃以下になる恐れがある場合は、これを回避するために当該作物の支給率を80%以下とすることもある。

※上記規定を適用するために標準労賃が未定であった、大豆・黒豆の作業料金を別表のように規定する。

※別表の農作業標準労賃・農機具使用料金計算基礎資料で、小麦の収穫後の平耕を大豆やソバの麦跡作物で実施している場合は小麦収穫後の平耕作業料金は支給しない。

【第8期（令和4年度）決算より適用】

【解説】

昨年のお米のように、天候不順や、商品価格の下落によって収支が悪化すると、最悪の場合経常赤字やそれに近い収益となる可能性は将来的に見て皆無とは言えない。現在の経理処理では作物毎に独立採算制としているので経常赤字が発生した場合、労働対価である従事分量配当を支払えなくなる。また、わずかな経常利益しか得られなかった場合、従事分量配当が標準労賃を大きく下回る可能性がある。

このような事態を避けるために、他の作物で補填し合いながら、可能な限り標準労賃の80%を保証することにする。

	改定案①				改定案②				改定案③				作業 料金	労賃	農機具 使用料
	作業 料金	労賃	農機具 使用料		作業 料金	労賃	農機具 使用料		作業 料金	労賃	農機具 使用料				
土改剤散布				土改剤散布	1,600	1,100	500	土改剤散布	1,600	1,100	500	周囲鋤出し	500	300	200
耕起 平耕	3,000	1,000	2,000	元肥散布	1,500	500	1,000	元肥散布	1,500	500	1,000	元肥	1,000	500	500
施肥 播種	2,000	1,000	1,000	平起こし	2,500	1,500	1,000	平起こし	2,500	1,500	1,000	平耕	1,800	1,000	800
溝きり	500	300	200	片培土	1,000	500	500	片培土	1,000	500	500	播種	1,000	500	500
除草剤散布	500	300	200	種子消毒	1,500	1,000	500	種子消毒	1,500	1,000	500	溝切り	500	300	200
施肥 追肥	500	300	200	播種・除草剤	1,500	1,500	組合機械	播種・除草剤	2,500	1,500	1,000	覆土	1,000	500	500
施肥 穂肥	500	300	200	(刈取)・搬送	3,500	3,000	500	刈取・脱穀・搬送	5,500	5,000	500	防除	500	300	200
防除 農薬散布	500	300	200	スタプルカルチ	1,500	1,000	500	選粒	1,000	1,000		圃場・畦畔管理	1,500	1,000	500
収穫	1,000円/時間			草刈・畦畔管理	1,500	1,000	500	スタプルカルチ	1,500	1,000	500				
運搬	軽トラ 400円/回			その他準備・清掃	500	500	0	草刈り	1,500	1,000	500				
平耕 3～1回	(2500)	(1000)	(1500)					その他準備・清掃	500	500					
畦畔管理	1,500	1,000	500												
	7,000	3,500	3,500		16,600	11,600	5,000		20,600	14,600	6,000		7,800	4,400	3,400

改定案①小麦収穫後の平耕を麦跡作物で実施した場合、小麦には（ ）内の作業料金を支給せず。但し、麦跡作物がない場合は、平耕起後圃場を返却するものとして（ ）内金額を支給する。

改定案②・③大豆、黒豆の作業料金を追加

	規定 作業料金	労賃	農機具 使用料	カントリー出荷											
				組合農機具使用			個人農機具使用			組合農機具使用			個人農機具使用		
				作業料	労賃	農機具	作業料	労賃	農機具	作業料	労賃	農機具	作業料	労賃	農機具
土改剤散布															
耕起 平耕	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
耕起 畝立て	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
中割 砕土	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
代かき	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
田植 施肥等含む	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500
施肥 追肥	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
溝きり	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
施肥 穂肥①	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
施肥 穂肥②	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
防除 農薬散布	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
収穫	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500
運搬	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500
乾燥	4,500	500	4,000												
脱糞	4,000	2,000	2,000												
水管理 畦畔管理	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000
	39,500	16,000	23,500	24,500	13,500	11,000	31,000	13,500	17,500	24,500	13,500	11,000	31,000	13,500	17,500

	規定 作業料金	労賃	農機具 使用料	袋体出荷											
				組合農機具使用			個人農機具使用			組合農機具使用			個人農機具使用		
				作業料	労賃	農機具	作業料	労賃	農機具	作業料	労賃	農機具	作業料	労賃	農機具
土改剤散布															
耕起 平耕	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
耕起 畝立て	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
中割 砕土	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
代かき	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500	2,500	1,000	1,500
田植 施肥等含む	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500	3,500	1,000	2,500
施肥 追肥	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
溝きり	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
施肥 穂肥①	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
施肥 穂肥②	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
防除 農薬散布	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200	700	500	200
収穫	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500	9,500	3,000	6,500
運搬	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500	1,500	1,000	500
乾燥	4,500	500	4,000	4,500	500	4,000	4,500	500	4,000	4,500	500	4,000	4,500	500	4,000
脱糞	4,000	2,000	2,000	4,000	2,000	2,000	4,000	2,000	2,000	4,000	2,000	2,000	4,000	2,000	2,000
水管理 畦畔管理	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000	3,000	2,000	1,000
	39,500	16,000	23,500	33,000	16,000	17,000	39,500	16,000	23,500	33,000	16,000	17,000	39,500	16,000	23,500

付表1 小麦 令和4年度栽培管理作業委託先 (農) 竹町農業生産組合 NO. 1

小字	地番	台帳面積	共済面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積	管理作業 委託先
中音城寺	690	1,474	14.6	仲川菊	△	○	740.0a	荒川雅男
中音城寺	691	2,303	22.9	仲川弥一郎	△	○		
亀月	894	2,828	28.1	中江義雄他	△			
亀月	898	3,224	32.0	船橋正和	△			
亀月	899	3,230	32.1	富田甚弘	△			
亀月	900	3,235	32.1	船橋雄平	△			
亀月	901	1,025	10.1	船橋雄平	△			
日向	918	2,012	20.0	荒川正晴		○		
丸田	925	956	9.5	船橋清太郎	△	○		
丸田	926	2,098	20.8	船橋正和	△	○		
上荒木	936	1,378	13.7	船橋清太郎	△	○		
上荒木	937	876	8.7	仲川保雄	△	○		
上荒木	940	1,854	18.4	仲川弥一郎	△	○		
上荒木	943	2,254	22.4	船橋雄平	△	○		
上荒木	946	1,576	15.6	大森六朗		○		
上荒木	947	1,440	14.3	小川康子		○		
上荒木	949	2,750	27.3	仲川保雄	△	○		
下荒木	958	2,374	23.6	荒川正晴		○		
下荒木	959	2,475	24.6	仲川すえ子		○		
下荒木	961	2,937	29.2	小川康子	△	○		
下荒木	965	1,545	15.3	仲川弥一郎	△	○		
下荒木	970-1	2,137	21.2	川橋袖子	△	○		
下荒木	970-2	63	0.6	川橋袖子	△	○		
下荒木	971	851	8.4	荒川好一		○		
下荒木	972	2,805	27.9	高岡久美子		○		
下荒木	973-1	2,351	23.3	北川誠次	△	○		
女夫輪	988	3,089	30.7	荒川好一		○		
女夫輪	989	3,135	31.1	船橋雄平	△	○		
女夫輪	991	3,080	30.6	高岡久美子		○		
女夫輪	992	3,077	30.6	船橋正和	△	○		
女夫輪	993	3,037	30.2	小川康子	△	○		
女夫輪	994	3,277	32.6	中江義雄他	△	○		
大鹿	995	1,318	13.1	万里川平	△	○		
大鹿	996	1,051	10.4	荒川敏和		○		
大鹿	997	1,412	14.0	荒川好一		○		

小字	地番	共済面積	耕作面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積	管理作業 委託先
亀月	895	2,676	26.6	仲川元治			209. 3a	仲川國男
丸田	927	1,746	17.3	仲川國男		○		
丸田	928	1,018	10.1	川橋袖子	○	○		
上荒木	938	2,319	23.0	船橋清一		○		
上荒木	941	1,577	15.6	富田正己		○		
上荒木	942	1,018	10.1	仲川國男		○		
下荒木	962	2,975	29.6	富田甚弘		○		
下荒木	963	2,521	25.0	船橋清一		○		
下荒木	967	2,128	21.1	富田甚弘	○	○		
女夫輪	990	3,109	30.9	富田甚弘	○	○		
中音城寺	693	1,940	19.3	小西信弘	△	○		
丸田	929	2,728	27.1	小川稔雄	△	○		
上荒木	950	2,802	27.8	荒川敏和	△	○		
上荒木	951	1,190	11.8	小川稔雄	△	○		
下荒木	960	3,065	30.4	仲川弥一郎	△	○		
女夫輪	995	1,591	15.8	船橋いよ	△	○		
大鹿	998	1,710	17.0	北川誠次	△	○		
大鹿	999	1,609	16.0	川橋好栄	△	○	61. 5a	奥田徹
丸田	930-1	2,136	21.2	川合良和	○	○		
丸田	930-2	234	2.3	川合良和	○	○		
下荒木	968	1,980	19.7	奥田徹	○	○		
下荒木	969	1,840	18.3	川合良和	○	○	60. 2a	中川昭三
亀月	896	1,158	11.5	船橋雄平	○	○		
亀月	897	2,017	20.0	中川昭三	○	○		
上荒木	948	2,889	28.7	中川昭三	○	○	10. 4a	北川佐一
日向	919	1,048	10.4	北川佐一	○	○	7a	川橋幸己
下荒木	966	709	7.0	川橋幸己	○	○		
小麦栽培管理委託面積 合計							1253. 6a	

付表2 水稲 令和4年度栽培管理作業委託先

農) 竹町農業生産組合

小字	地番	台帳面積	共済面積	所有者	機構 借地	法人 管理	管理 委託面積 (a)	耕作者
北裏	1060	922	9.1	冨田甚弘	○	○	286. 3a	奥田徹
前くぼ	1108	919	9.1	川合良和	○	○		
畑ヶ中	1051	1,241	12.3	奥田徹	○	○		
北裏	1059	1,533	15.2	奥田徹	○	○		
北裏	1064	2,007	19.9	川合良和	○	○		
畑中	736-1	2,904	28.8	奥田徹	○	○		
草深	1025	3,171	31.5	川合良和	○	○		
女夫輪	985	3,188	31.7	川合良和	○	○		
草深	1024	3,197	31.8	奥田徹	○	○		
草深	1023	3,221	32.0	奥田徹	○	○		
畑ヶ中	1054	3,235	32.1	奥田徹	○	○		
草深	1017	3,301	32.8	川合良和	○	○		
砂原	1099	941	9.3	小川善次	○	○	62. 4a	北川佐一
前くぼ	1107	2,479	24.0	北川佐一	○	○		
西裏	1087	2,929	29.1	北川佐一	○	○		
宮前	882	415	4.1	川橋幸己	○	○	76. 2a	川橋幸己
宮前	883	796	7.9	万里川平	○	○		
新替町	1529	1,174	11.6	川橋幸己	○	○		
北裏	1065	1,855	18.4	川橋幸己	○	○		
新替町	1530	3,446	34.2	川橋幸己	○	○		
西裏	1085	1,778	17.6	船橋清太郎	○	○	64. 1a	仲川國男
拘込	1070	1,986	19.7	川橋袖子	○	○		
西裏	1086	2,695	26.8	船橋清太郎	○	○		
前くぼ	1106	2,573	25.6	中川昭三	○	○	25. 6a	中川昭三
水稲栽培管理委託面積 合計							514. 6a	

付表3 農業生産組合管理の全圃場と管理作業委託先

	管理作業委託先	小麦	水稻	大豆	黒豆	ソバ	合計
1	小川稔雄	165.2					119.0
2	荒川雅男	740.0		581.4	208.3		1575.9
3	中川昭三	60.2	25.6				85.8
4	川橋幸己	7.0	76.2				83.2
5	奥田 徹	61.5	286.3				347.8
7	仲川國男	209.3	64.1				273.4
8	北川佐一	10.4	62.4				72.8
9	船橋雄平班					433.5	433.5
	合計	1253.6	514.6	581.4	208.3	433.5	2991.4

付表4 竹町全圃場の作物別・管理者別区分

	中間管理機構 からの借受農地※	中間管理機構 未契約農地	合計
水 稻	1,456.6 a	429.4 a	1886.0 a
小 麦	886.3a	367.3a	1,253.6a
合 計	2,342.9 a	796.7 a	3,139.6 a
構成比	74.6%	25.4%	100.0%

※中間管理機構からの借受農地には認定農業者分も含む。

付表5 作物別管理区分

	法人管理	個人管理	総 計
水 稻	514.6 a	1371.4 a	1886.0 a
小 麦	1253.6 a	—	1253.6 a
大 豆	581.4a	—	581.4a
黒 豆	208.3 a	—	208.3 a
ソ バ	433.5a	—	433.5 a
合 計	2991.4a	1371.4a	4362.8 a
構成比	68.6%	31.4%	100.0%

付表6 部外秘 取扱注意 令和4年度竹町水田作付基本台帳 令和4年1月1日 No.1

※機構借地 ○：法人 △：個人

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和4年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
白地地域	46-1	1,213	7.7	仲川國男	船橋紀雄			7.7				
白地地域	352	373	3.7	荒川雅男	船橋雄平	△		3.7				
中音城寺	690	1,474	14.6	荒川雅男	仲川菊	△	○		14.6	14.6		
中音城寺	691	2,303	22.9	荒川雅男	仲川弥一郎	△	○		22.9	22.9		
中音城寺	693	1,940	19.3	小川稔雄	小西信弘	△	○		19.3	19.3		
畑中	736-1	2,904	28.8	奥田徹	奥田徹	○	○	28.8				
畑中	738-1	1,341	13.3	仲川國男	富田正己			13.3				
宮前	882	415	4.1	川橋幸己	川橋幸己	○	○	4.1				
宮前	883	796	7.9	川橋幸己	万里川平	○	○	7.9				
宮前	884	419	4.1	荒川雅男	船橋文雄	△		4.1				
宮前	885	380	3.7	仲川國男	富田正己			3.7				
宮前	886	1,962	19.5	小川稔雄	船橋いよ	△		19.5				
亀月	894	2,828	28.1	荒川雅男	中江義雄他	△	○		28.1	28.1		
亀月	895	2,676	26.6	仲川國男	仲川元治		○		26.6	26.6		
亀月	896	1,158	11.5	中川昭三	船橋雄平	○	○		11.5		11.5	
亀月	897	2,017	20.0	中川昭三	中川昭三	○	○		20.0		20.0	
亀月	898	3,224	32.0	荒川雅男	船橋正和	△	○		32.0		32.0	
亀月	899	3,230	32.1	荒川雅男	富田甚弘	△	○		32.1		32.1	
亀月	900	3,235	32.1	荒川雅男	船橋雄平	△	○		32.1		32.1	
亀月	901	1,025	10.1	荒川雅男	船橋雄平	△	○		10.1		10.1	
亀月	902	2,201	21.8	仲川國男	仲川弥一郎			21.8				
亀月	903	3,277	32.6	仲川國男	仲川弥一郎			32.6				
亀月	904	2,266	22.5	荒川雅男	仲川保雄	△		22.5				
社裏	909	1,378	13.7	荒川雅男	川橋好栄	△		13.7				
社裏	910	1,614	16.0	仲川國男	富田正己			16.0				
社裏	911-1	2,141	21.3	荒川雅男	北川仙二	△		21.3				
社裏	911-3	55	0.5	荒川雅男	北川仙二	△		0.5				
日向	918	2,012	20.0	荒川雅男	荒川正晴		○		20.0	(20.0)		
日向	919	1,048	10.4	北川佐一	北川佐一	○	○		10.4	(10.4)		
丸田	925	956	9.5	荒川雅男	船橋清太郎	△	○		9.5			9.5
丸田	926	2,098	20.8	荒川雅男	船橋正和	△	○		20.8			20.8
丸田	927	1,746	17.3	仲川國男	仲川國男		○		17.3			17.3
丸田	928	1,018	10.1	仲川國男	川橋袖子	○	○		10.1			10.1
丸田	929	2,728	27.1	小川稔雄	小川稔雄	△	○		27.1			27.1
丸田	930-1	2,136	21.2	奥田徹	川合良和	○	○		21.2			21.2
丸田	930-2	234	2.3	奥田徹	川合良和	○	○		2.3			2.3
上荒木	936	1,378	13.7	荒川雅男	船橋清太郎	△	○		13.7	13.7		
上荒木	937	876	8.7	荒川雅男	仲川保雄	△	○		8.7	8.7		

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和4年度栽培面積 (a)					
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ	
上荒木	938	2,319	23.0	仲川國男	船橋清一		○		23.0	23.0			
上荒木	940	1,854	18.4	荒川雅男	仲川弥一郎	△	○		18.4	18.4			
上荒木	941	1,577	15.6	仲川國男	富田正己		○		15.6	15.6			
上荒木	942	1,018	10.1	仲川國男	仲川國男		○		10.1	10.1			
上荒木	943	2,254	22.4	荒川雅男	船橋雄平	△	○		22.4	22.4			
上荒木	946	1,576	15.6	荒川雅男	大森六朗		○		15.6	15.6			
上荒木	947	1,440	14.3	荒川雅男	小川康子		○		14.3	14.3			
上荒木	948	2,889	28.7	中川昭三	中川昭三	○	○		28.7	28.7			
上荒木	949	2,750	27.3	荒川雅男	仲川保雄	△	○		27.3	27.3			
上荒木	950	2,802	27.8	小川稔雄	荒川敏和	△	○		27.8	27.8			
上荒木	951	1,190	11.8	小川稔雄	小川稔雄	△	○		11.8	11.8			
下荒木	958	2,374	23.6	荒川雅男	荒川正晴		○		23.6				23.6
下荒木	959	2,475	24.6	荒川雅男	仲川すえ子		○		24.6				24.6
下荒木	960	3,065	30.4	荒川雅男	仲川弥一郎	△	○		30.4				30.4
下荒木	961	2,937	29.2	荒川雅男	小川康子	△	○		29.2				29.2
下荒木	962	2,975	29.6	仲川國男	富田甚弘		○		29.6				29.6
下荒木	963	2,521	25.0	仲川國男	船橋清一		○		25.0				25.0
下荒木	965	1,545	15.3	荒川雅男	仲川弥一郎	△	○		15.3				15.3
下荒木	966	709	7.0	川橋幸己	川橋幸己	○	○		7.0				7.0
下荒木	967	2,128	21.1	仲川國男	富田甚弘	○	○		21.1				21.1
下荒木	968	1,980	19.7	奥田徹	奥田徹	○	○		19.7				19.7
下荒木	969	1,840	18.3	奥田徹	川合良和	○	○		18.3				18.3
下荒木	970-1	2,137	21.2	荒川雅男	川橋袖子	△	○		21.2				21.2
下荒木	970-2	63	0.6	荒川雅男	川橋袖子	△	○		0.6				0.6
下荒木	971	851	8.4	荒川雅男	荒川好一		○		8.4				8.4
下荒木	972	2,805	27.9	荒川雅男	高岡久美子		○		27.9				27.9
下荒木	973-1	2,351	23.3	荒川雅男	北川誠次	△	○		23.3				23.3
女夫輪	982	3,100	30.8	荒川雅男	仲川幹雄	△		30.8					
女夫輪	983	3,229	32.1	荒川雅男	川橋一明	△		32.1					
女夫輪	984	3,216	31.9	荒川雅男	仲川保雄	△		31.9					
押見	984	2,901	28.8	小川稔雄	中路亀之助	△		28.8					
女夫輪	985	3,188	31.7	奥田徹	川合良和	○	○	31.7					
女夫輪	987	1,225	12.1	荒川雅男	大森六朗			12.1					
女夫輪	988	3,089	30.7	荒川雅男	荒川好一		○	30.7	30.7				
女夫輪	989	3,135	31.1	荒川雅男	船橋雄平	△	○	31.1	31.1				
女夫輪	990	3,109	30.9	仲川國男	富田甚弘	○	○	30.9	30.9				
女夫輪	991	3,080	30.6	荒川雅男	高岡久美子		○	30.6	30.6				
女夫輪	992	3,077	30.6	荒川雅男	船橋正和	△	○	30.6	30.6				

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和4年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
女夫輪	993	3,037	30.2	荒川雅男	小川康子	△	○		30.2	30.2		
女夫輪	994	3,277	32.6	荒川雅男	中江義雄他	△	○		32.6	32.6		
女夫輪	995	1,591	15.8	荒川雅男	船橋いよ	△	○		15.8	15.8		
大鹿	995	1,318	13.1	荒川雅男	万里川平	△	○		13.1		13.1	
大鹿	996	1,051	10.4	荒川雅男	荒川敏和		○		10.4		10.4	
大鹿	997	1,412	14.0	荒川雅男	荒川好一		○		14.0		14.0	
大鹿	998	1,710	17.0	小川稔雄	北川誠次	△	○		17.0		17.0	
大鹿	999	1,609	16.0	小川稔雄	川橋好栄	△	○		16.0		16.0	
草深	1011	1,938	19.2	荒川雅男	奥正信	△		19.2				
草深	1012	1,643	16.3	荒川雅男	奥正信	△		16.3				
草深	1013	3,361	33.4	荒川雅男	仲川保雄	△		33.4				
草深	1014	3,340	33.2	荒川雅男	北川誠次	△		33.2				
草深	1015	1,629	16.2	荒川雅男	仲川弥一郎			16.2				
草深	1016	1,700	16.9	小川稔雄	小川富造	△		16.9				
草深	1017	3,301	32.8	奥田徹	川合良和	○	○	32.8				
草深	1018	3,233	32.7	荒川雅男	大森六朗			32.7				
草深	1020-1	2,842	28.2	荒川雅男	東純市	△		28.2				
草深	1021	1,717	17.0	荒川雅男	仲川菊	△		17.0				
草深	1022	1,377	13.7	荒川雅男	仲川幸男	△		13.7				
草深	1023	3,221	32.0	奥田徹	奥田徹	○	○	32.0				
草深	1024	3,197	31.8	奥田徹	奥田徹	○	○	31.8				
草深	1025	3,171	31.5	奥田徹	川合良和	○	○	31.5				
草深	1026	920	9.1	荒川雅男	船橋しづ子	△		9.1				
草深	1027	1,914	19.0	荒川雅男	荒川敏和	△		19.0				
野瀬	1038	1,719	17.1	荒川雅男	船橋康秀	△		17.1				
野瀬	1040	3,107	30.9	荒川雅男	川橋袖子	△		30.9				
野瀬	1041	3,121	31.0	荒川雅男	小西信昭	△		31.0				
野瀬	1042	3,113	30.9	荒川雅男	小川稔雄	△		30.9				
野瀬	1043	1,853	18.4	荒川雅男	富田甚弘	△		18.4				
野瀬	1044	1,309	13.0	荒川雅男	小川富造	△		13.0				
野瀬	1045	3,141	31.2	荒川雅男	仲川幹雄	△		31.2				
野瀬	1046	3,047	30.3	荒川雅男	北川佐一	△		30.3				
畑ヶ中	1050	2,165	21.5	荒川雅男	高岡久美子			21.5				
畑ヶ中	1051	1,241	12.3	奥田徹	奥田徹	○	○	12.3				
畑ヶ中	1052	3,238	32.2	荒川雅男	仲川幸男			32.2				
畑ヶ中	1053	3,237	32.2	荒川雅男	大森六朗			32.2				
畑ヶ中	1054	3,235	32.1	奥田徹	奥田徹	○	○	32.1				
畑ヶ中	1055	2,950	29.3	荒川雅男	万里川平	△		29.3				
北裏	1059	1,533	15.2	奥田徹	奥田徹	○	○	15.2				

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和4年度栽培面積 (a)					
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ	
北裏	1060	922	9.1	奥田徹	富田甚弘	○	○	9.1					
北裏	1061	1,970	19.6	小川稔雄	高岡久美子	△		19.6					
北裏	1062	512	5.0	荒川雅男	小川善次	△		5.0					
北裏	1063	2,240	22.2	荒川雅男	仲川菊			22.2					
北裏	1064	2,007	19.9	奥田徹	川合良和	○	○	19.9					
北裏	1065	1,855	18.4	川橋幸己	川橋幸己	○	○	18.4					
拘込	1070	1,986	19.7	仲川國男	川橋袖子	○	○	19.7					
拘込	1071-1	1,307	13.0	川橋袖子	川橋袖子	○	○	(13)	夏野菜				
拘込	1071-2	1,092	10.8	荒川雅男	川橋袖子	△		10.8					
拘込	1073	288	2.8	荒川雅男	仲川元治	△		2.8					
拘込	1074	1,667	16.5	荒川雅男	仲川幹雄	△		16.5					
拘込	1075	472	4.6	荒川雅男	東純市	△		4.6					
拘込	1076	1,623	16.1	荒川雅男	北川佐一	△		16.1					
拘込	1077	2,048	20.3	荒川雅男	川橋一明	△		20.3					
西裏	1084	922	9.1	荒川雅男	東純市	△		9.1					
西裏	1085	1,778	17.6	仲川國男	船橋清太郎	○	○	17.6					
西裏	1086	2,695	26.8	仲川國男	船橋清太郎	○	○	26.8					
西裏	1087	2,929	29.1	北川佐一	北川佐一	○	○	29.1					
砂原	1095	2,264	22.5	荒川雅男	万里川平	△		22.5					
砂原	1096	579	5.7	荒川雅男	万里川平	△		5.7					
砂原	1097	1,698	16.8	小川稔雄	北川誠次	△		16.8					
砂原	1098	1,893	18.8	仲川國男	仲川國男			18.8					
砂原	1099	941	9.3	北川佐一	小川善次	○	○	9.3					
前くぼ	1103	1,466	14.5	荒川雅男	荒川好一			14.5					
前くぼ	1104	2,579	25.6	荒川雅男	仲川弥一郎			25.6					
前くぼ	1105	2,584	25.7	荒川雅男	仲川菊			25.7					
前くぼ	1106	2,573	25.6	中川昭三	中川昭三	○	○	25.6					
前くぼ	1107	2,479	24.0	北川佐一	北川佐一	○	○	24.0					
前くぼ	1108	919	9.1	奥田徹	川合良和	○	○	9.1					
前くぼ	1109-1	773	7.6	荒川雅男	荒川美智子			7.6					
前くぼ	1109-2	700	6.9	荒川雅男	荒川美智子			6.9					
古川尻	1118	1,469	14.6	荒川雅男	小西信昭	△		14.6					
古川尻	1119	868	8.6	荒川雅男	万里川平	△		8.6					
古川尻	1120	1,394	13.8	荒川雅男	仲川保雄	△		13.8					
古川尻	1121	947	9.4	荒川雅男	大森六朗			9.4					
古川尻	1122	2,335	23.2	仲川國男	船橋清一			23.2					
古川尻	1123	2,250	22.3	荒川雅男	船橋康秀	△		22.3					
古川尻	1124	1,249	12.4	荒川雅男	荒川好一			12.4					

小字	地番	台帳面積 m ²	共済面積 a	耕作者	所有者	機構借地	法人管理	令和4年度栽培面積 (a)				
								稲作	麦作	大豆	黒豆	ソバ
西畑	1131	1,004	9.9	荒川雅男	荒川正晴			9.9				
御屋敷	1146	2,150	21.3	荒川雅男	仲川幸男	△		21.3				
クルス	1153	2,420	24.0	小川稔雄	小川康子	△		24.0				
クルス	1155	1,798	17.8	小川稔雄	小川康子	△		17.8				
新替町	1524	1,131	11.2	荒川雅男	仲川元治			11.2				
新替町	1525	1,130	11.2	荒川雅男	川橋袖子	△		11.2				
新替町	1526	177	1.7	荒川雅男	川橋袖子	△		1.7				
新替町	1528	1,001	9.9	荒川雅男	川橋袖子	△		9.9				
新替町	1529	1,174	11.6	川橋幸己	川橋幸己	○	○	11.6				
新替町	1530	3,446	34.2	川橋幸己	川橋幸己	○	○	34.2				
								1886.0	1253.6	581.4	208.3	433.5